



『西原町史』発刊に向けて②

西原町立図書館では、昨年度に引き続き、『西原町史』第9巻・資料編8「西原の言語」の発刊に向けて、調査・編集作業を進めています。

今年度から「言語編」と同時進行して、「通史編」を新規事業として立ち上げました。これまで発行された町史は資料編という形をとり、一分野、もしくは専門的な視点からの記述でしたが、「通史編」は西原町の歴史を総合的に記述することを目的としています。



「通史編」では、西原町の歴史の変遷を皆様にわかりやすく示し、町の将来展望への基礎となるようなものになりたいと考えています。学校教育や社会教育、生涯教育の場で幅広く活用されることにより、町民としての自覚や誇りを再認識してもらい、世界で活躍する人材を育成する一助となることも目指しています。

「通史編」の発刊に先駆けて、これまで西原町が収集・整理してきた歴史資料を中心に「資料にみる西原(仮題)ビジュアル版」を発刊する予定です。地図や写真を多く掲載し、町民の皆様が西原町の歴史について理解を深めていただきたいと思います。一例として、左の写真をご覧ください。



小那覇の綱引きを見物する人々の様子  
1937(昭和12)年撮影

この写真から当時の様々なことがわかります。例えば、

- ①戦前の旗頭の形がわかる
  - ②旗頭のまわりにいる人たちは、ハチマキをして白い服を着ている
  - ③見物している人々の服装がわかる(芭蕉衣やアダン葉帽子)
  - ④家屋の造りが茅葺、もしくは瓦葺になっている
- など多くの情報が含まれています。

また、西原町は戦前から戦後にかけて糖業が盛んな地域でした。戦後、嘉手苅にあった中部製糖株式会社第一工場はよく知られていますが、小那覇にあった中部製糖株式会社第二工場はあまり知られていません(左写真)。一九六〇〜一九七七年までの十七年間、西原には二つの製糖工場がありました。製糖工場の歴史は西原町の歴史でもあり、当時の産業を知るうえで重要な要素になっています。



小那覇にあった中部製糖株式会社 第二工場  
1970~71(昭和45~46)年撮影

「通史編」や「資料にみる西原(仮題)」を編集する際には、写真(古写真・人物・風景・まつり・町行事)、地図、辞令書、文書、石碑などの資料が必要です。町史編集係では、これまで以上に町内に関する資料収集を行いたいと思います。各自治会や個人で古い資料をお持ちの方はぜひ西原町史編集係までご連絡下さい。

『西原町史』

全巻セットで1万円!

- |              |         |                  |         |
|--------------|---------|------------------|---------|
| 第2巻「西原の文献資料」 | ¥1,500- | 第7巻「西原の産業」       | ¥900-   |
| 第3巻「西原の戦時記録」 | ¥1,500- | 別巻「西原の民話」        | ¥1,800- |
| 第4巻「西原の民俗」   | ¥1,800- | 『戦災被災者記録』        | ¥900-   |
| 第5巻「西原の考古」   | ¥1,200- | 付属刊行物「西原町の自然」    | ¥300-   |
| 第6巻「西原の移民記録」 | ¥1,200- | ガイドマップ「西原の自然と文化」 | ¥100-   |

